

自治会広報 第94号：2022年9月号

かわら版

発行者：桜台4番街自治会

発行責任者：桜台4番街自治会会長 名越 均

臥龍祭の中止について

桜台4番街自治会では、10月8～10日の3連休を目途に臥龍祭の開催を検討しておりましたが、現時点で新型コロナウイルス感染者数は徐々に減ってきているものの、亡くなる方の数はまだ十分に下がっていない事、感染した場合に後遺症に悩まされるかたも少なく無い事など、いまだに十分に安心してお祭りのような行事を行えるまでには至っておりません。最低4～5週間前となるこの時期には準備をはじめめる必要があるのですが、上記のような状況を考慮した結果8月20日の定例役員会にて開催を断念するに至りました。参考までに今回の夏祭りは、以下のような項目を骨子として規模を縮小したものを検討していました。

- ①開催時間を12時～16時の4時間とする(照明設備不要)。
- ②テントは管理組合・自治会所有の3張りのみの設営とする(借り物を最小限に、中央舞台は無し)。
- ③模擬店は子供たち向けの「お楽しみ系」を中心とした構成とする。
- ④手間と人手を要する前売りチケット方式をやめ現金販売とする(売り切れ御免、会員優遇無し)。
- ⑤出し物は「白井太鼓」「バンド演奏」などに絞り込む(神輿巡行や盆踊りはなし)。

なお中止の穴埋めとして、餅つき会での抽選会や餅つき会の規模拡大なども検討しております。来年こそは、臥龍祭を開催できる状況になりますよう、祈るばかりです。

桜台デイサービス前交差点改良について

掲題の交差点においては見通しが悪く、交差点の横断や通過の際に交通事故の発生が懸念される状態が続いていました。またアクロスプラザ西(スーパーヤオコー等があり)への出入りやイオン方面からの通り抜け車両も増大しており事故の発生リスクも高まっていることから自治連合会桜台小学校区支部として信号機設置地要望書を2度にわたり提出していましたが、所管する千葉県公安委員会の現地調査の結果一定時間内における交通量が設置基準を大幅に下回っていた事により残念ながら現状では信号機の設置には至りませんでした。しかし、たび重なる地元住民の要請もあって何らかの対策が必要とのことで白井市役所と印西警察の協議により交差点の改良をすることになり、工事に向けては現場の計測と設計、予算措置などもあって時間がかかりましたがこの度着工される運びとなりました。

《工事期間》

9月中旬～11月上旬

《改良工事の概要》

交差点が広く桜並木もあって見通しが悪いことから、交差点進入車両のスピード抑制も考慮し交差点がコンパクト化されます。

- ・車線境界線の引き直しとカラー塗装、交差点のコーナーにゼブラゾーンの設置
- ・車止めポスト及びポストフレックス(視線誘導標)の設置
- ・横断歩道手前にハンプを設置

(※路面に設けられた凸状の部分のこと、通過する車両に注意を喚起させる)



地区防犯連絡会での警察の話によると、交差点の改良によって交通事故の危険性の軽減は期待されますが、横断歩道前の一時停止や徐行など運転マナーを守る事が基本とのことです。今回の改良で、交差点のサイズは小さくなりますが、停止線や横断歩道の位置は変わりませんので、停止線

で止まったあと、ゆっくりと徐行し交差点内の安全を確認しながら侵入することが大切だとのことです。また、横断歩道を渡ろうとする人がいた場合、その前を車両で横切ると当然違反になりますので注意が必要です。特に優先側の車は歩行者への注意が重要です。直交するクルマにばかり気を取られて横断する歩行者への注意を怠ると重大な事故につながります。なお見通し確保のために、桜台センター側から見て交差点手前の歩道東側の街路樹を2本と西側を1本伐採するとのことでした。

編集後記

夏の入り口の頃にはコロナ感染も収束し今年こそは臥龍祭をと期待させたのですが、その後の急速な感染再拡大のため、残念ながら桜台4番街の臥龍祭は今年も中止となってしまいました。最近では感染者数も減る傾向にあるものの、臥龍祭は多くのご高齢の方の協力やたくさんの子供たちの集まるのが特徴で、それを考慮すると中止の判断をせざるを得ませんでした。ご理解いただきたいと思います。このままコロナ感染がおさまらず、来年こそは盛大に臥龍祭が開催できることを願うばかりです。

